

「カムイのうた」松江上映会

10月12日（土）松江市市民活動センター（STIC）504会議室

第1部 映画上映 ① 10:00～12:10 ② 13:30～15:40

第2部 講演:アイヌの森と文化を取り戻す(講師:貝澤 太一) ① 12:15～② 15:45～(各45分)

私たちには何も許されなかった



吉田美月喜 望月歩 島田歌穂 清水美砂 加藤雅也

天宮良 伊藤洋三郎 阿部進之介 栗月 清水伸 加藤憲史郎 茅本梨々華 ハスタ功次郎 江守沙矢 小柳友貴美

監督・脚本＝菅原浩志

プロデューサー＝作間清子 音楽＝佐橋隆彦 撮影監督＝上野彰吾 美術＝長瀬忠 録音＝小川民 編集・合成＝崎任智三 助監督＝奈良高英

主題歌＝奥田家徳「カムイのうた」 主題歌作曲＝島健 アイヌ語・文化監修＝藤村久和 配給＝トリプルアップ 宣伝＝MUSA

協賛＝株式会社三菱UFJ銀行 株式会社ホクリク 株式会社モンヘル 第一カス株式会社 茨城県 西山福用電気株式会社 株式会社栃木新聞 株式会社北海道新聞 朝日新聞金澤 SATO 社会福祉財団士法人
製作＝シネボイス 製作補助＝学芸文化芸術「写眞の町」北海道厚別町

忘れてはいけない壮絶な民族の史実が、胸を揺さぶる。

PG12
5歳以上

映倫
E11112





語り継がねばならない真実の物語 何一つ許されない、差別と迫害に満ちた 民族の史実が、胸を揺さぶる！

全てに神が宿ると信じ、北海道の厳しくも豊かな自然と共存して生きてきたアイヌ民族。日本の北方エリアにおける先住民として独自の文化を築いてきたアイヌ民族は、やがて和人(大和民族)によって差別と迫害の日々を余儀なくされました。

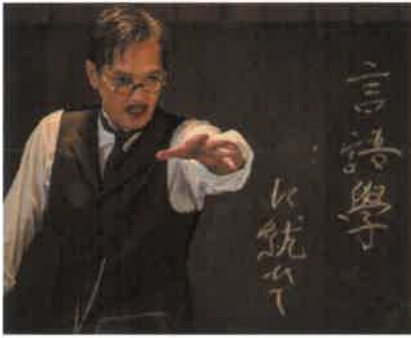
同じ民族ではないという理由だけで――。

本作は、1903年に生まれた知里幸恵という実在の人物をモデルに描いた、アイヌ民族の壮絶な真実の物語です。

彼女の功績は、文字を持たずユーカラという叙事詩で民族の歴史を詠い継いできたアイヌの文化を初めて美しい日本語に

訳したとして今も語り継がれています。

決して風化させてはいけない後世に残る感動の作品が誕生しました。



島田歌穂

主題歌「カムイのうた」

- ◆ 歌——島田歌穂
- ◆ 作詞——菅原浩志
- ◆ 作曲——島健

アイヌの心には、 カムイ(神)が宿る。

学業優秀なテルは女学校への進学を希望し、優秀な成績を残すのだが、アイヌというだけで結果は不合格。その後、大正6年(1917年)、アイヌとして初めて女子職業学校に入学したが土人と呼ばれ理不尽な差別といじめを受ける。ある日、東京から列車を乗り継ぎアイヌ語研究の第一人者である兼田教授がテルの叔母イヌイエマツを訊ねてやって来る。アイヌの叙事詩であるユーカラを聞きにきたのだ。叔母のユーカラに熱心に耳を傾ける教授が言った。「アイヌ民族であることを誇りに思ってください。あなた方は世界に類をみない唯一無二の民族だ」教授の言葉に強く心を打たれたテルは、やがて教授の強い勧めでユーカラを文字で残すことに没頭していく。そしてアイヌ語を日本語に翻訳していく出来栄の素晴らしさから、教授のいる東京で本格的に頑張ることに。同じアイヌの青年・三四と叔母に見送られ東京へと向かうテルだったが、この時、再び北海道の地を踏むことが叶わない運命であることを知る由もなかった…。

コミック情報「カムイのうた」

- ◆ 漫画——なかはらかせ
- ◆ 原作——菅原浩志
- ◆ 発行者——(株)春陽堂書店



講師 Profile: 貝澤 太一

平取町二風谷在住。「NPO 法人ナショナルトラストチコロナイ」理事長。二風谷で生まれ育ち、酪農学園大学を経て「北海道立アイヌ民族文化研究センター」に研究者として16年勤める。2011年より二風谷に戻り、家業の「シケレベ農場」を継ぎ、低農薬米栽培や無農薬トマト作りなど、安全で美味しい作物づくりを目指し日々奮闘している。併せて、自身のアイデンティティであるアイヌ文化の精神や技術・文化を伝える活動を、木彫りやイラストデザイン、「シケレベキャンプ」などの体験キャンププログラムを通じて体感してもらう活動も行っている。

資料代500円 手帳をお持ちの方・介助者・20歳未満無料
問合せ：090-1685-1478(ミタニ)

主催：和輪羽の会

後援：松江市、フォーラム平和・人権・環境しまね、部落解放同盟島根県連合会、朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局